

認知症の理解を深め誰でも安心して暮らせる地域づくり



多職種協学事例検討会

認知症サポート 地域のあり方を探る



2月、「認知症の理解を深め、だれでも安心して暮らせる地域づくり」を年間テーマに掲げ「令和7年度第5回多職種協学事例検討会」が総社町公民館ホールで開催された。医療・福祉の専門職が集まり、高齢化する社会の中で地域のあり方を語り合った。前橋市柔道整復師会からは齋藤泰光会員が参加した。



社会生活の躓きを減らして在宅期間を延長

2040年には日本人口の1割、高齢者の3割が認知機能低下になると予想される。これを鑑み、「認知症の人の」したいこと“がかなう地域の力を育てよう」と、群馬医療福祉大学リハビリテーション学部教授・山口智晴氏を講師に招き講演。医療・福祉関係者が取り組むべき指針を示した。

日常生活を送る上で指針となるのはIADL(手段的日常生活動作)とADL(日常生活動作)。認知機能が低下することで、金銭管理や服薬・家事動作(IADL)は初期から自立度の低下が見られるが、着替えや食事・排泄(ADL)は中等度まで維持されるという。事例としては、「着替

えはできるが上着と下履きを違える」、

「同じ物を何度も購入する」、「細かい支払い計算ができずに硬



貨ばかりが増えてしまう」、などが挙げられる。

上記の症状が発症すると自立した生活が困難になり支援が必要とされるのだが、山口氏は「全てを支援に委ねるのではなく如何にサポートするかが重要」と強調。社会生活の躓きを減らすことで、在宅生活期間の延長が可能になるという。

認知症についての概念もアップデートが必要だ。「認知症になったら何もできなくなるわけではありません。ある程度の社会生活活動は可能です。本人の要望に添いながら、住み慣れた地域で希望を持って自分らしく暮らすことが望ましい」として、個人の尊厳を尊重する考えを示唆した。



便利なようで不便？ 人との絆による支援で解決

講義後のグループワークでは、「認知症の人の“したいこと”が叶う地域とは？」を主題に話し合う。両親の介護に際した困りごとや改善方法などについて意見を出し合い、適切な支援策を

探った。中でも多かったのが、技術の発展による効率化の弊害だ。例えば買い物ではセルフレジが増えており、若い人には便利な反面、戸惑う高齢者は多いという。また、効率化による人員削減の煽りを受け、車椅子移動で介助が必要な時にサポートが受けられないなど、実は不便な面も増えたようだという指摘もみられた。参加者からは「認知症になってもしたいことを叶えるには、やはり人と人の繋がりが大切ではないでしょうか。今回学んだことを活かし、身近なところから実践していきたい」との声も上がっていた。

効率重視の自動化は、認知機能の低下がみられる高齢者が日常生活を送る上で、却って負担になる場面も多いようだ。こうした複合的な課題を抱えた高齢者に対して医療・福祉・介護に求められるのは、「絆による重層的支援の仕組み」ではないだろうか。難しい問題であるが、身近なところから少しでも、「誰もが住みやすい地域づくり」について検討を重ねていきたい。

(報告 齋藤泰光)

自壊する欧米

- 著者 / 三牧聖子・内藤正典
●発行所 / 集英社新書



Z世代のアメリカ

- 著者 / 三牧聖子・内藤正典
●発行所 / NHK出版新書

分断や分極化は、民主政治では不可避か、憎悪や軽蔑を互に向ける対立は、政治的自由に付きまとう害悪なのか。

「自壊する欧米」の中で、著者の一人でもある内藤正典氏はデータを武器に現在起きているアメリカ・ヨーロッパの政治的分断を厳しく批判する。政治制度はあくまで手段だから、どんな結果を産むかによって評価を下す必要があるという。調査によれば、政治参加や政治への執考は、合意や和解を生むどころかむしろ対立を促しており、分断を激化させているというのだ。

しかも有権者の多くは、無知で非合理的。アメリカ人の40%は第2次世界大戦でどこで戦ったかも知らない。選挙権は「他者に対する権力」だから、こうした人たちが行使するのは正当化できないというのだ。

一方、民主主義の可能

性を示しているのは「Z世代のアメリカ」だ。内藤氏が手段としての良し悪しに着目して民主政治を批判したのに対し、三牧聖子氏は民主主義が持つ内なるパワーを重視する。他の政治体制の方がパフォーマンスに優れようと、それだけでは平等の感覚と結びついた民主政治は打ち負かされない。さらに、有権者が無知で非合理的であろうと支障ないという。重要なのは制度設計だからだ。

対立や多様性は民主政治の創造性やダイナミズムと分けることはできない。だから分断自体が悪いわけではないという。しかし、競争相手への敬意を欠き、その地位まで否認するのは、自由と平等を原点とする民主政治自体を損ねるがゆえ、許容することはできない。自分たちだけが「真のアメリカ人だ」と称し相手

を「二級市民」、「外国勢力の手先」と貶めるポピュリズムへの強い批判がある。

ただ、対立や多様性の意義を擁護しながら、他方では民主政治そのものを守るために対立を共通ルールの枠内に収める。この二つの基軸の下「民主主義のインフラ」の再建を目指すことが望ましいと指摘する。

こうした分断について意見を述べると「異議申し立ての自由を奪うのか」と拒否反応が生じるのだが、これも健全であると否定しない。

しかし、憎悪に満ちた分断の現状を踏まえれば、多用性のある政治空間を保つためにも、対立のルールや前提について改めて考えるべき時期なのではないだろうか。ライバルに勝つだけでなく、分断に勝つためにも知恵を絞りたい。

分極化する社会を生きる

民主主義のインフラ 再建への提言

5月 休日当番

3日(日)		
前橋	なお接骨院	027-288-0504
伊勢崎佐波	森接骨院	0270-32-0115
桐生みどり	いけだ整骨院	0277-43-5233
	高橋接骨院	0277-52-0846
高崎	間庭接骨院	027-373-6290
	櫻井接骨院	027-361-8933
	千住名倉清水接骨院	027-326-3741
富岡	神戸接骨院	0274-67-2389
4日(月)		
前橋	かすかわ接骨院	027-289-6933
伊勢崎佐波	せき接骨院	0270-61-8711
桐生みどり	すわ接骨院	0277-46-0901
	赤井接骨院	0277-51-5626
高崎	林接骨院	027-371-3708
	櫻井並榎接骨院	027-322-6658
	たちばな鍼灸接骨院	027-393-6810
富岡	矢島接骨院	0274-63-6840
5日(火)		
前橋	須藤接骨院	027-266-9478
伊勢崎佐波	森接骨院	0270-25-1122
桐生みどり	澤接骨院	0277-53-9966
	深澤接骨院	0277-46-2929
高崎	萩原接骨院	027-323-8020
	たいじゅ接骨院	027-388-1543
	ひらひ接骨院	080-1135-5074
富岡	木暮接骨院	0274-82-2139
6日(水)		
前橋	せきぐち接骨院	027-226-6202
伊勢崎佐波	いざわ鍼きゅう接骨院	0270-64-1908
桐生みどり	藤倉接骨院	0277-43-5374
	のぞみ接骨院	0277-46-8915
高崎	川浦接骨院	090-8058-5360
	観音塚牛込接骨院	027-325-5941
	おるい接骨院	027-384-8607
富岡	さまた鍼灸接骨院	0274-62-1057
10日(水)		
前橋	総社町接骨院	027-289-2869
伊勢崎佐波	こばやし接骨院	0270-61-5300
桐生みどり	武井接骨院	0277-77-1156
	ひろさわ接骨院	0277-46-6633
高崎	鈴木接骨院	027-373-0108
	こじま接骨院	027-363-8668
	やまな整骨院	027-347-6000
富岡	小宮山接骨院	0274-64-4850
17日(日)		
前橋	滝沢接骨院	027-253-6870
伊勢崎佐波	三輝接骨院	0270-63-5568
桐生みどり	中村接骨院	0277-32-1878
	みのる接骨院	0277-55-1511
高崎	向井接骨院	027-373-4545
	ほりこし整骨院	027-384-8283
	まつばら接骨院	027-384-4793
富岡	佐俣接骨院	0274-82-5252
24日(日)		
前橋	藤の丘田口接骨院	027-265-2680
伊勢崎佐波	穂積鍼灸接骨院	0270-75-4466
桐生みどり	新井接骨院	0277-44-7577
	佐藤接骨院	0277-51-5858
高崎	忍冬堂小野接骨院	027-372-0636
	あさみ接骨院	027-329-6909
	ほりぐち鍼灸接骨院	027-353-4155
富岡	あいあい接骨院	0274-64-0052
31日(日)		
前橋	上泉接骨院	027-231-2226
伊勢崎佐波	接骨院かき伊勢崎支店	0270-20-7833
桐生みどり	くぼつか接骨院	0277-77-2112
	清水接骨院	0277-47-6386
高崎	藤川接骨院	027-372-1165
	長瀬接骨院	027-325-3544
	瀬間はり灸接骨院	027-388-0553
富岡	たかばやし接骨院	080-2457-3167

<http://www.sekkotuin.or.jp/kyujitu/index.html> 検索

休日当番は変更となる場合があります。
詳しくは当会ウェブサイトにて、
ご確認をお願い致します。



左の2次元コードからも
アクセスできます。

